

# 薩摩川内の気になるコト

純大生・作

2013年 10月号

広報薩摩川内  
×  
鹿児島純心女子大学  
第3回  
～川内川花火大会～

## 気になる川内川花火大会の裏側

今回は先日8月16日に行われた、第55回川内川花火大会の裏側をのぞいてみました。個人花火と放送に込められた思いをちょっとだけ紹介します。

私たちが企画・編集  
しました。



鹿児島純心女子大学 広報委員

## No.1 個人花火

中学校の校長先生をされている軍神さんは、花火大会の次の日に誕生日を迎えられた奥様へのプレゼントとして、花火をあげられました。一緒に添えられたメッセージに正直な気持ちを込め、当日は久々に奥様と二人で花火鑑賞をされたようです。奥様からはメールで「ありがとう」という言葉をもらったそうです。



岡本さんは、結婚1周年の記念に奥様に向け花火をあげられました。普段お互い忙しく、一緒に過ごす時間は少ないですが、当日はご家族やご友人の方々と一緒にご覧になったそうです。こんなに大々的なサプライズは今回が初めてで、奥様も大変喜ばれたと伺いました。



## No.2 FM さつませんだいによる放送

今年からFMさつませんだいによる放送にかわった川内川花火大会。普段話すことをお仕事とされているパーソナリティーの方々ですが、やはり初めてで少し緊張されたようです。終わったときは「安心」の気持ちだったそうです。

リスナーの方々からの声、そしてなにより前日の放送で提案した、携帯電話の明かりで花火師さんへの感謝の気持ちを伝える企画を観客の方々が行ってくださったときは感動されたそうです。放送はパーソナリティーのお二人だけでなく、レポートに行かれたスタッフ、事務所で機械を扱っていたスタッフの皆さんによって作り上げられました。とても熱い思いを感じますね。



純大生による花火大会の裏側はいかがでしたか？ただ見るだけじゃなくて、こういった人々の思いに心を委ねてみると花火もさらに輝いて見えるのだなと、私たちも実感しました。協力してくださった皆さま、本当にありがとうございました。



上部に刻まれた磨崖梵字



倉野六地藏塔



倉野磨崖仏

**倉野磨崖仏の歴史**  
倉野は、入来院地頭・河内郡・南瀬郡・南瀬小学校の末子倉野範幹が地頭として、建長2年(1250年)から治めた地です。その際、範幹は「瑞泉庵」と呼ばれる庵を建立したといわれています。それから月日が流れ、文保2年(1318年)、寂円房という人が、亡くなった両親の供養と村人たちの

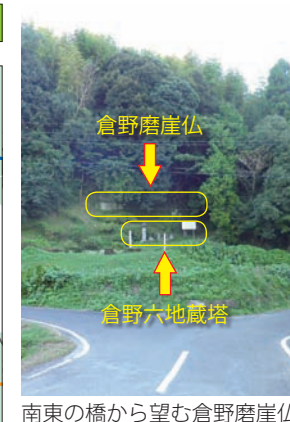
第6回(平成24年12月10日号)の歴史散策シリーズで紹介したとおり、磨崖仏とは、崖面などに直接彫りこまれ、自然と一体化した種類の仏像のことです。第6回では東郷町の小路磨崖仏を紹介しましたが、今回は樋脇町の倉野磨崖仏を紹介します。

倉野磨崖仏は、17の梵字(一説には19字)・1体の陽刻、仏像・3つの陰刻、五輪塔・その他仏種子などから成り立っており、鎌倉時代末期の仏教文化の面影をみることができます。

同磨崖仏の隣には倉野六地藏塔もみられ、1カ所で2つの文化財を楽しむことができます。

倉野磨崖仏と倉野六地藏塔は、昭和50年9月1日、旧樋脇町の文化財として指定されました。

### 今回紹介した文化財位置図



南東の橋から望む倉野磨崖仏

- 注釈
- ※1 浮き上がらせて彫る技法
  - ※2 くぼませて彫る技法
  - ※3 密教において仏尊を象徴する一音節の呪文(真言)
  - ※4 僧侶などが執務で使用する質素なたたずまいの小屋
  - ※5 大日如来の知恵の世界
  - ※6 大日如来の理性の世界
  - ※7 密教の教主であり、最高尊。万物の慈母

平安を祈って瑞泉庵跡地の岩肌に磨崖梵字を刻みました。

梵字を刻む行為は、仏像を彫る行為と同じ意味合いを持つといわれ、この後数回にわたり刻まれていきます。

今回は「頼山陽宿泊碑」を紹介いたします。



中腹に刻まれた磨崖梵字  
(右端の丸い石に刻まれたものがオオンク)

- 梵字**
- この地の梵字の中でも、中央部の巨大な文字「オオンク」は、倉野で創作された文字と伝えられています。密教における表裏一体の世界「金剛界」と「胎造界」を説く大日如来を表し、倉野磨崖仏最大の特徴となっています。
- その他の文字もそれぞれで意味を持っています。
- 【例】この地で見られる梵字の一部
- オオンク 金剛両部不二大日
  - バン 金剛界大日
  - パーク 釈迦
  - キリク 阿弥陀
  - バイ 薬師

【問合先】=教育委員会文化課 ☎(23)5111(内線5233)